２０１６．６．１７

大草

仏教の倫理と日本人のコンプライアンスの意識

１．日本人のコンプライアンスの意識とは

（１）法令等諸規則・企業倫理に違反しないこと=規則と道徳の順守。

（２）社会の要請や期待に応えること。

（３）公共の福祉に叶い、正しいこと。

（４）天に向かって恥ずかしくないこと。

（５）人間の尊厳と品性を重んじること。

（６）金と正義が敵対するときは、正義をとる。（拝金主義はダメ）

（７）環境変化への対応

２．仏教の倫理とは

（１）五戒

　　　・不殺生、不偸盗、不邪淫、不妄語（ウソ）、不飲酒

（２）十善戒

　　　・不殺生、不偸盗、不邪淫、不妄語、不悪口、不両舌(２枚舌)、不綺語（戯言）、　無貪、無瞋（怒り）、正見（邪見にふけらないこと）

（３）その他

３．関係性

（１）日本人のコンプライアンスの精神には、仏教の倫理が反映されている。

（２）仏教の倫理を実践し順守していくことがコンプライアンスの向上につながる。

（３）仏教の伝来以来１５００年の仏教徒としての歴史がバックグラウンドにある。

４．他の宗教の影響

（１）儒教

（２）キリスト教

（３）神道

５．教育の必要性

　・仏教をはじめ、宗教教育の必要性はあるが実施されてないのでは？

　・確率した自由主義経済社会の中では、もう宗教教育は不要となったか？

以上